



10年前の卒業生へ

卒業して、進学に就職と目まぐるしい日々を送る二十代。
そんな忙しい日々の暮らして、東野を忘れていませんか？
卒業から10年という節目に
東野生だった頃を思い出してみませんか。
かつて、級友と共に過ごした日々を…



二十五期生、卒業アルバムより

東野高等学校同村会会報
No.17 2022年春号

東野高等学校同村会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二本木112-1

◆ 会報春号連載企画 — 「25期生」 1993年4月2日～1994年4月1日生のあなたへ

一組 鬼嶋 知見 先生

久しぶりに卒業アルバムを拝見しました。少人数でアットホームな一組の担任。同時に、「一人ひとり心が強く、個を尊重し認め合えるクラスだったな」と、一緒に過ごした日々を思い返しています。当時から世界とつながってきた皆さんは、現在の世界情勢を大人としてどのように見ているのでしょうか。ぜひ語り合いたいです。

二組 福島 静香 先生

二〇一四年三月三十一日退職

三組 鹿間 光晴 先生

とても明るい元気なクラスでした。当時、「特進」の三クラスは成績順だったため、三組はお休みや成績の面でも心配でした。しかし：体育祭や文化祭での素晴らしい活躍、そしてその後の進学も順調で、最初の心配は杞憂でした。今も女子八名男子二十六名、計三十四名の皆さんが明るく元気に活躍していることを願っています。

四組 此木 淳一 先生

二十五期生のみなさん、元気に過ごしていますか。このクラスで特に印象的だったのは、男子メンバーの性格の両極端な集まりだったこと。女子は元気がいい子が多くて体育祭では女子だけの応援チームを作りました。本当に面白いメンバーでした。今後も個性を生かしつつ共生できる生き方をしてくださいね。

五組 仲本 進一 先生

二〇一一年四月、個性とパワーにあふれた君たちと出会い、期待と不安が胸の中でグルグルと渦巻いていたことを昨日のことのように思い出します。あれから十年、様々なことを経験してキミたちがどのように成長したのか、再び出会う日を楽しみにしています。

六組 星 雅之 先生

皆さん元気に頑張っていますか。二十五期生は私が男子クラスを受け持った思い出深い年です。かつて私が過ごした男子校の楽しさ面白さを再び味わせてもらいました。あれから十年、人生の目標に向かって果敢にチャレンジしている君達の姿を想像し、応援しています。何事も前向きに更なる飛躍を目指して頑張ってください。

七組 柚木 哲治 先生

二〇一四年三月三十一日退職
現在剣道部コーチ

二十五期生の皆さん元気にお過ごしですか？ 私は八年前に東野高校を退職し新たな道歩んでいます。コロナにも負けず元気にしておりますので安心して下さい。二十五期生と言えば三年七組男組でしょう。東野高校始まって以来初の男子クラスです。やんちゃ坊主だらけのクラスでしたが、団結力があり楽しいクラスだった事を今でも思い出します。人生百年時代になりました。先は永いですが悔いの残らない人生を歩んで欲しいと思います。

25期生209名中54名の方に会報が送れていません。

住所が変わられましたら、同村会まで必ずご連絡ください。

同村会へようこそ

三十五期生の皆さん、ようこそ同村会へ。

同村会は、東野高校のすべての卒業生が会員です。

同村会は「卒業生と卒業生」「卒業生と先生」「卒業生と東野高校」を繋げる活動をしています。

この春、東野高校には三十八期生が入学しました。卒業生のお子さんが東野に入学という「東野二世」も、どんどん増えています。東野高校も、新型コロナウイルスの影響を受け、私たちが想像する高校生活とはずいぶん違う生活を送っています。学園祭の中止、また、非公開による学園祭。体育祭の中止、修学旅行の中止、先生と卒業生のみでの卒業式、オンラインによる授業など。ここ二年、学校も在校生のために試行錯誤していました。

そのような中でも、コロナに負けず高校生活の思い出を作りたいと悪戦苦闘した在校生たち。そんな姿をただ応援することしかできませんでした。少しでも高校生活が素敵に過ごせるように、同村会から在校生に、生徒手帳の「手帳カバー」を贈らせていただきました。堅



同村会から在校生にプレゼントした「手帳カバー」

苦しくないイメージで、他校とは一線を画す大人っぽいカバーを、との思いでデザインしました。今後も同村会は、後輩達が「東野高校で良かった」と感じてもらえるようなお手伝いを続けたいと思っています。また、入学式では「同村会からの寄贈」であることを学校より紹介頂き、同村会の存在を在校生にお伝えすることも出来ました。

現在同村会では、三年後の二〇二五年に卒業生全員にお声がけする「大同窓会」を企画しています。年内にはもっと詳しい情報をご案内できるように準備を進めています。

去年の会報、春号、冬号ともに企画募集、お手伝い募集の力がぎを同封したところ、十二通の返信をいただきました。コスプレ大会、体育祭など面白い案もいただきました。しかし、やはり卒業生から届く声に多いのは「先生との再会」です。夢のような話ではありますが、同

村会としては、お世話になった先生方、講師、すべてにお声がけしたいと思っています。ご退職された先生、他の場所で教鞭をとられている先生、また職を変えて新しい人生を送られている先生。高校時代にお世話になった先生方に、大人になった私達を見ていただきたいと思っています。

学校の協力のもと、現在、お辞めになった先生方の連絡先を探しています。

「〇〇先生の住所知っています」そんな会員の方がいらつしやいましたら、同村会まで一報ください。個人情報保護により「住所を教えてください」とは言いません。卒業生と先生との架け橋になってください。パイプ役として先生にご連絡をするお手伝いをしていただけたら嬉しいです。よろしくお願い致します。

また、企画案、大同窓会のお手伝いは、現在も募集しています。お世話になった先生方、そして十八歳から五十六歳の卒業生が楽しめる「こんな企画があったら参加したい」というような企画を募集中です。

info@dousonkai.com

卒業生より

品田 聖斗 さん (26期)

東野高等学校第二十六期生の品田聖斗です。現在は学習塾の教室長を務めており、生徒の志望校達成と夢の実現を応援しつつ、自ら授業もしております。また東野高校の運営母体である学校法人盈進学園の評議員として、卒業生と学習塾の教室長という側面から、より良い東野高校を目指す一員として母校に携わっています。

現在も、そしてこれからも

学習塾や学校という教育現場にいたいという想いは変わらないと思っています。それは間違いなく東野高校での学校生活があったからだと確信します。

在学中は、新入生代表の言葉、新入生歓迎の言葉など、その時にしかできない経験ができ、志望理由の一つだった囲碁部へも所属して、部長を務めました。独特で自由な東野に、また、自分にとって

は恩師とも呼べる先生と愉快な仲間恵まれたことで、自分にできることは全力でやるという気持ちで鼓舞されました。

相談できる環境と頼れる人々のありがたみを感じつつ、実行力や責任感などを学ぶことができました。とにかく学校、クラスで過ごす時間が楽しく、一番早いパスで登校し最後のバスで帰る日が多かったです。その仲間たちは今でも交流があり、人生の友となり、先生方は私の理想

とする教師像で在り続けています。私が在学中の東野高校では、全学年が制服に身を包み、検定合格や大学進学に力を入れ、様々な取り組みをしていたように思います。朝のホームルーム前のゼ口時限授業や英語検定対策、高校三年生では毎日放課後にセンター試験の過去問を解いたことを覚えています。それらのカリキュラムをこなせたことも、気の合う仲間たちと、生徒思いで教育熱心な先生方のおかげでした。私は「数学」と、それを指導する先生に魅力を感じ、三年生の夏に教員を目指すという進路に、急変更しました。東野の先生方は、在学中も卒業後も相談に乗ってください、とても感謝しています。

卒業後は理系大学に進み、教職課程を履修、学習塾に勤めることとなりました。やりたかった数学等の指導の他に、生徒や保護者との相談、講師への指導といった仕事は、やりがいを感じながらも、自らの勉強と成長に繋がっています。

東野高校は、校舎や進学実績、その他様々な面で進化していると思います。私自身、今後も東野の卒業生として、また

教育者として、東野の魅力を発信しつつ、東野高校の発展に微力ながらも携わりたいと思います。

卒業生や東野を知る皆様も、時々で構いませんので、東野高校のことを思い出していただければ、嬉しい限りです。

主役を担う在校生

同窓会担当 前田 良郎 (東野高校 教諭)

今年度も在校生の活躍を同窓生の皆様にお伝えする学校案内リーフレットを、同窓会紙に同封させて頂きました。ご覧いただく皆様に少しでも充実した活力のある学校生活を送っている在校生を知って頂くために作成いたしました。在校生は先輩方が築かれた本校の伝統を担い、そして本校の伝統を引き継ぎ、絶え間なく発展させてきました。この在校生の歩みは今後ともより良い伝統の継承として引き継がれてゆくものと思います。ここで紹介している様々な活躍は、在校生の活動の一部ではありますが、勉学や進路実績、部活動や委員会・実行委員会活動

など、幅広い伝統的な活動をまとめて紹介させて頂いています。



活を過ごした本校キャンパスは、日々生徒の活力に満ち、新緑の樹木に満ちたキャンパスです。世界に一つだけのこの校舎やキャンパスで過ごされた素敵な高校生活に思いを馳せて頂ければ幸いです。最後となりましたが同窓生の皆様の益々のご発展を祈念し、今後とも本校の発展にご尽力を賜ります様お願い申し上げます。



卒業式・入学式

◆卒業式

二〇二二年三月六日、第三十五回卒業証書授与式が行われました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、大講堂にて、卒業生四二三名と、教職員。第二会場として、体育館に卒業生保護者を招き、式の様子をライブ中継。

また、参列できない保護者のためにYouTubeで限定配信も行われました。

◆入学式

二〇二二年四月九日「所沢市民文化センター ミュージアム」にて入学式が行われました。三十八期生三二一名入学。

二〇二一年度合格実績

GMARCH 11名

- 学習院大学 2名
- 明治大学 1名
- 青山学院大学 2名
- 中央大学 5名
- 法政大学 1名

成成明学獨國武 15名

- 成蹊大学 1名
- 獨協大学 7名
- 國學院大学 3名
- 武蔵大学 4名

日東駒専 過去最多108名

- 日本大学 15名
- 東洋大学 79名
- 駒澤大学 9名
- 専修大学 5名

国公立大学

- 都留文科大 2名
- 弘前大学 1名
- 釧路公立大 4名
- 北見工業大 1名

大東亜帝国拓 95名

- 大東文化大 23名
- 東海大 12名
- 亜細亜大 12名
- 帝京大 38名
- 国士舘大 4名
- 拓殖大 6名

その他有名大学

- 東京薬科大
 - 日本赤十字看護大
 - 北里大
 - 日本女子大
- その他多数合格

部活動の活躍

●剣道部

関東大会予選西部支部大会
男子団体戦 県大会出場
男子個人戦(男子2名) 県大会出場

●陸上競技部

インターハイ西部地区予選
女子走高跳3位、男子走高跳4位
男子走幅跳6位
県大会出場(5/11)

●男子サッカー部

インターハイ西部地区予選
1回戦 ○3-1 所沢商業
2回戦 ○3-0 坂戸西
代表決定戦 ●0-2 豊岡

●野球部

春季埼玉県大会西部地区予選
1回戦 ○10-3 狭山工業
代表決定戦 不戦敗(コロナ感染により辞退)

●ダンス部

3/27(日)「それSnowManにやらせてください」(TBS)に出演

●吹奏楽部

4/29(金) 第11回定期演奏会開催

●男子バレーボール部

春季西部地区大会
1回戦 ○2-0 城北埼玉
2回戦 ●0-2 朝霞

●男子バスケットボール部

春季高校選手権西部地区予選
1回戦 ○89-55 富士見
2回戦 ●33-11 豊岡

●男子テニス部

インターハイ西部地区予選
1回戦 ○2-1 星野
代表決定戦 ●0-3 西武台

二〇二二年度学事報告

1月8日(土)

●始業式

22日(土)~24日(月)

●入学試験

3月6日(日)

●第35回卒業証書授与式(大講堂)

4月6日(水)

●新入生ガイダンスⅡ

7日(木)

●登校日(23年生)

8日(金)

●始業式(23年生)

9日(土)

●入学式

11日(月)

●音楽鑑賞会(所沢市民文化センターMUSE)

●対面式 オリエンテーション

●新入生歓迎会

12日(火)

●健康診断(全学年)

13日(水)

●平常授業開始

16日(土)

●委員会開き

25日(日)

●後援会発足10周年記念 木橋贈呈式

28日(木)

●東京ローハルゲートウェイプログラム参加(全)

30日(土)

●東野ウオーク(国営武蔵丘陵森林公園1年)

●防災訓練

進路指導

4月18日(月)

●2・3年生放課後講習開始

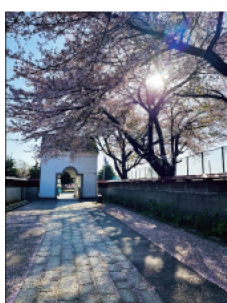
22日(金)

●模試の日

募集活動

5月13日(金)

●塾対象報告会



追悼 クリストファー・アレグザンダー氏

東野高校を設計・建築したウィーン出身の建築家「クリストファー・アレグザンダー氏」が、去る三月十七日にお亡くなりになりました。享年八十五歳。

他に類を見ない東野高校のキャンパスは、これが高校なの？と皆が一度は目を見張るものですが、東野高校に通った生徒であれば、一度は「アレグザンダー」の名前を耳にしたことでしょう。

東野高校のキャンパスは、パターン・ランゲージという理論に基づくアイデアとデザインが採用されたもので、そのパターン・ランゲージの生みの親であり、世界的に著名な建築家がアレグザンダー氏です。写真は、第四回東野村祭り（現在の「盈華祭」）に氏が来校された時のものです。

英ガーディアン紙にもアレグザンダー氏の追悼記事が掲載さ



クリストファー・アレグザンダー氏
(2期生卒業生アルバムより)

れ、東野のキャンパスや体育館の写真も掲載されており、東野が世界的に注目をされる建築物であることも判ります。

(記事下にURLあり)

アレグザンダー氏は、東野をデザインするにあたり、機能重視のコンクリートの校舎ではなく、日本の伝統的な木造主体の建物を基調とし、起伏や地形を活かしたデザインをする方針を打ち立てました。ご存じの通り、建築当時、体育館は戦後最大の木造建築物としても注目され、体育館や東野のキャンパスは、今までいくつものメディアで紹介されてきました。

また、パターン・ランゲージの

根幹の一つである「使用者参加の原理」を具体化するため、東野高校の前身である盈進高校の教職員百名以上に、学校の

キャンパスに求めること等を直接聞き取り、そこ（東野）に生きる（通う）者たちにとって大切になるで

あろう、いくつものイメージパターンを構築していったそうです。そうした中でアレグザンダー氏がデザインした東野高校のキャンパスは、「名付けぬ質」と世界的に表され、表現をしにくくできない、無限の可能性と、崇高な理念が美しく具現化された理想空間と言えます。

その理想空間を持続させるために、そこで生きる人たちが、未来を見据え、過去を尊び・学び、協力しあって進化させていくことが必要であることを、無意識に学ぶことができているのだと思います。

この思考は、いま世界中で叫ばれているSDGs「持続可能な開発目標」の先取りだと言えますし、いわゆる持続させるために、使用者の働きが大切であることを説いています。そして、在校生はいま、キャンパスの維持活動をしてくれており、卒業生から見ても、その活動はとても誇らしいものです。

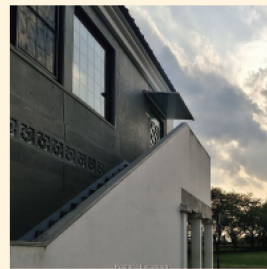
私たちは、その素晴らしい東野のキャンパスで生きた者として誇りをもち、アレグザンダー氏への感謝と敬意を表するとともに、ご冥福をお祈り致します。

【英ガーディアン紙の追悼記事】

<https://www.theguardian.com/artanddesign/2022/mar/29/christopher-alexander-obituary>

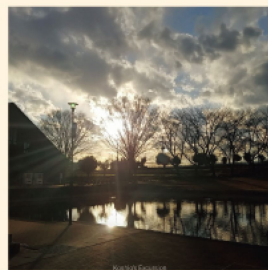
ポーとししやもの 東野散歩

その昔、東野のキャンパスには「ポー」と「ししや」という2匹の犬が住んでいました。生徒の心を癒してくれたポーとししやも、2匹に素敵な東野を案内してもらうことになりました。



むかしは雨が降ると教室から出たくはなかった靴も服も濡れるからでもいまは各教室の入口には庇がついているのが羨ましい...

長かった授業がやっと終わって早く帰りたいと思ってたときやなんだかひとりになりたいときこの夕焼けを見るたびにところが癒やされた気がした



いつもはなんとなく通っていた中央広場むかしは砂利だったので石を投げるひとや池に落ちるひとアヒルやガチョウが懐かしいいまは砂利はなくなったけど

同村会基金

埼玉りそな銀行入間支店 普通口座

●口座番号 1384371
●口座名 東野高等学校同村会 (ヒガシノコウトウガッコウドウソンカイ)

発行者 東野高等学校同村会 (同窓会)

〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1 東野高等学校内
FAX 04-2934-6462
メールアドレス info@dousonkai.com
ホームページ https://www.dousonkai.com



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



合言葉は “ 会報届いてる? ”

会員の皆さんにお願いがあります。今年で卒業生が1,045人。そのうち会報が送れているのは7,484人です。毎回、宛先不明で戻ってくる会報が増えています。住所変更があった友人に同村会へ連絡するように伝えて下さい。特に近年、住所表記の変更による宛先不明者が増えてしまっています。今後、会報が届かなくなったな…と感じた方は、同村会に連絡を下さい。1人でも多くの卒業生に同村会からの情報を伝えたいと思っていますので、ご協力をお願いします。